

 **楽しさ あふれる！**
くしろチューリップ&花フェア

Full of fun Kushiro Tulip & Flower Fair



「チューリップフェアの魅力とは!？」



**ご自由に
お取りください
Take Free**



《誰でも楽しめるフェア》

くしろチューリップ&花フェアは、釧路市鶴ヶ岱公園で5月中旬頃に行われているフェアです。

みなさんはチューリップフェアでは、何をしているかご存知でしょうか？



ステージで行われるライブ/live on stage



チューリップ&花フェアでは、鶴ヶ岱公園のステージでライブが行われています。

幼稚園児や、学生など、さまざまな人たちが歌ったり踊ったりしています。幼稚園児さんらのマーチングバンドや、大学の合唱サークルの方々が歌ったり、ダンス、弾き語りなどを披露しています。ご当地Vtuberの鬼霧シアンさんも来たりしました。地域の方が参加しているのでとても親しみやすいです。屋台店の食べ物を食べながらでも観ることができるのでゆっくり楽しめます。

Many people are playing live.



屋台などなど… /Stalls etc..



屋台店では、手作りの食べ物や飲み物、キーホルダーなどが販売されています。

鈴カステラや、クレープ、チョコバナナ、かき氷などの食べ物から、屋台店以外にもキッチンカーで、唐揚げやたこ焼き、ラーメンなども販売されています。ペッコウ飴なんかも手作りのので、素朴な味がして美味しいです。

食べ物の他にも雑貨なども販売されていたりします。キーホルダーやシュシュなどの女性に人気なものだけでなく、くじ引き、スーパーボールすくいなどのお子さんでも楽しめるような屋台店もあります。

そして、武道館の前にはフリーマーケットが開かれていて、洋服やぬいぐるみなど多様なものが販売されています。

Stalls sell food and accessories.

その他のイベント/Other events



その他に、チューリップ&花フェアでは、武道館の前に消防車が来たり、昨年はポニーの親子が来て、実際に馬車で公園内を回ったりと、楽しいイベントが行われていました。

私も毎年行っているのですが、毎回いろいろな雑貨や、食べ物、イベントがあってとても楽しいです。大人から子供まで、老若男女問わず誰でも楽しめるので、みなさんもぜひ来てみてください。

A pony can come and ride a carriage.



《チューリップフェアに、訪れるお客さん》

チューリップフェア・沢山の人が来るイベント/Tulip fair, event that many people come to

チューリップフェアには、子どもや大人、外国人まで、沢山の人が集まる大きなイベントです。今年は、2日で20000人近くの方が来れました。コロナ前は2日で30000人もの方が来ていたそうです。

チューリップフェアはすごく人気なイベントで、このイベントの運営者である小林さんは、「外国人や、いろいろな人に来てほしい。みんなが楽しめれば、自分たちも楽しくなる。」とおっしゃっていました。私もコロナで2年間フェアを開催していなかったのですが、2年ぶりにフェアに行けてとても嬉しかったし、楽しかったです。それに、一緒に行った友達も楽しそうだったので、ぜひ今後も毎年開催されてほしいです。



チューリップフェアに行った人の感想/Impressions of people went to the tulip fair

M・Tさん

・ステージでは、明るい曲を歌っている人が多くてハッピーな気持ちになった。お店をしている人は、サービス精神が旺盛でとても親しみやすかった。ポニーが可愛かった。

I・Hさん、H・Sさん

・食べ物が美味しかった。べっこうあめといちごあめが美味しかった。

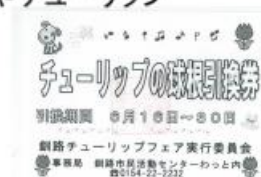
Y・Sさん

・会場の雰囲気が楽しかった。フェアにいるときだけ、コロナのイライラがなくなって、不思議とすごく開放された気分になった。

花カードとは？/What is a flower card?

チューリップフェアを運営している「わっと」では、花カードという取り組みもしています。花カードとは、釧路市阿寒湖温泉の美術館に作品を展示している画家の黒滝博さんが、釧路の花や風景を描いたカードです。花カードを購入した方には、チューリップの球根が10個ほどプレゼントされるそうです。

1枚200円で球根の交換期間は6月中旬～下旬までです。はがきとして飾ってもきれいなので、ぜひ、興味のある人はわっとやチューリップフェアの会場で購入してみてください。





《チューリップフェアの裏側の秘密》



チューリップフェアの準備 / Prepareng for thetulip fair



チューリップの植える準備は、前年の10月から始めます。土を起こして球根を植える作業を行います。驚くことに球根の数は、なんと14000個も植えられているそうです。

14000本も植えられていることに、私はとてもびっくりしました。

その中でも大変なことは、チューリップを植える準備です。チューリップフェアに来る来客にも「チューリップがきれい！」と思ってもらえるように、チューリップの球根などがきれいに植えられています。冬に行うと、気温の低下により、スコップが入らなるため、前年の10月からチューリップフェアに向けて花を植える準備をしています。



鹿対策のこと / measurea ageainst beer



次に鹿対策についてです。

前年の10月に植えた球根ですが、春になるとその球根を狙って、鹿がやってきます。なぜなら、チューリップの芽は鹿の大好物だからです。

そこで、実行委員会では球根を守るために、今までに色々な対策を取ってきました。

まずはじめに、鹿に球根を食べられないように、唐辛子をぶら下げる唐辛子作戦をとったのですが、球根を食べられてしまいました。

次に考えた作戦が、ラジオを1日中かける作戦です。この作戦はうまくいきましたが、なんとラジオを人に盗まれてしまったそうです...

最後の作戦が、みどりのネットを周りに張る作戦です。みどりのネットを貼ったおかげで、鹿に球根をあまり食べられなくなりました。しかし、年々鹿が早く現れるため、対策をしたにも関わらず、今年はなんと約3000個も食べられたそうです。今後も実行委員会と鹿の戦いは続きます。

おまけ！

チューリップフェアのおすすめスポット紹介 / Tuli Fair Recommended



私が紹介するチューリップフェアのオススメスポットは、右の写真の場所です。チューリップの色が綺麗で、赤・黄・白色などチューリップが綺麗に並んでいます。思わず写真を撮りたくなります。ぜひ、チューリップフェアに行き、チューリップがいっぱい並んでいる所の写真を、ぜひ撮ってみてください。





《知られざる運営者の想い》



リーダー小林さんの想い/Mr.Kobayashi's thoughts

チューリップフェアには、沢山の人が関わり、そして、沢山の人の想いもあります。その中でも小林さんが中心となって行なっています。今回は、その小林さんの想いについて紹介します。

実は、チューリップフェアは小林さんが立ち上げたものではありません。「このまちを花いっぱいにしよう！」と市役所が始めた企画だそうです。小林さんが実行委員長に就任してからは、「みんなに楽しんでほしい。」という小林さんたちの想いで運営されるようになりました。

今年のチューリップフェアでは、馬車に乗りながらチューリップを楽しむ企画や、地元の幼稚園・保育園の子たちが来たりブイチューパーの鬼霧シアンさんが来たりして、とても楽しかったです。小林さんの想いが伝わってきました。

みんなに楽しんでほしい！



大変な事/serious matter



チューリップフェアの実行委員長の小林さんは、「皆さんに楽しんでほしい」という想いでフェアを運営していますが、その中で大変なこともあるそうです。小林さんにインタビューしてみたところ「人を集めるのも、企画を進めるのも大変です。でもやっていたら楽しいこと面白いこともあります。」

と、おっしゃっていました。大変なことなのに、とても笑顔で語っていました。

大変なことや努力があるからこそ、より一層楽しいチューリップフェアになっていると私は思いました。



おまけボランティアについて/volunteer



実は、チューリップフェアでは、当日運営している実行委員の方たちだけでなく、沢山の人の協力で成り立っているそうです。前年のうちに植えるチューリップは緑地課の人たちが中心になって行ってくれていますし、フェアの前に植えるパンジーはボランティアを募って協力してもらっているそうです。ボランティアの人が30~40人も来てきれいなチューリップの球根を植えてくれているそうです。

色々な人が関わってきれいなチューリップができていくのですね。



城山地区を調べてみて ～自分にとって城山地区とは？～



私は、今回の学習を通して、城山地区は都会でなくても賑やかで、笑顔が溢れている街だと考えました。理由は、地区の方々の思いや工夫などで賑やかになっていると思ったからです。

また、最初は田舎で都会とは違い楽しめるのところが少ない街だと思っていましたが、今ではそこまで都会ではないけれど、都会にはない良さがある街だと思っています。

これからもこの城山地区の良さを活かして、長期滞在者の方々や、観光客の方にも素敵だなと思ってもらえる街になるといいなと思いました。

城山小学校 6年 I.T

私は、今回の学習を通して、城山地区は思いやりもあってすごく居心地のいい街だと思いました。なぜなら、お店の人が優しく声をかけてくれる人たちばかりだったからです。

例えば、飲食店の東屋やお酒が美味しい福司、キッチンカーやお店をいっぱい開催している笑顔のニュータウンさんなど、今までは行っていなかったけれども、インタビューの学習を通してその温かさに触れることができました。

学習を通して、色々なお店や祭りに行ってみたくなったし、みんなが楽しめる企画や食べ物など、お店の人や運営者の人たちがたくさん考えてくれているんだなとわかりました。インタビューすることで、改めてこの街は自分にとって一番素敵な街だなと思いました。

今後人口が増えなくても、長期滞在者の方々や旅行者が少しでも「いい街だな」「楽しい街だからまた来よう」と思ってくれて、訪れる人が少しでも増えてくれたらいいなと私自身思います。

これからも、城山の歴史を大切にしていきながら、城山のよさをみんなに伝えていきたいです！

城山小学校 6年 I.H

私は今回の学習を通して城山地区は人の思いが詰まった街だと思いました。なぜなら、チューリップフェアや秋祭りなどのイベントはみんなに楽しんでほしいという思いがあり、福司や東家、仏舎利塔は味や歴史を繋いでほしいという思いがあるからです。だから城山地区は人の思いが詰まった街だと思います。

また、最初は城山地区は地味な街だと思っていましたが、どんどん学習を進めていくうちに城山地区は歴史が古く、地域の人たちも明るく私達が楽しめるようにいろいろなイベントなどを考えていることを知り、もっと自分たちの街を大切にしていきたいと思いました。

城山小学校 6年 N.S

私は城山地区を調べてみて、優しい心が集った街なんだなと思いました。

どうしてかと言うと、私は最初、魅力のない町だと思っていましたが、インタビューをしていくうちに、ボランティアや企画者、ゴミ拾いの方など、様々な人がこの町のために行ってくれていることを知り、優しい心が集まった街だと気づきました。建物にも味があり、とても素敵な街です。

私はこの城山地区の良さをもっと多くの人に知ってもらいたいです。

城山小学校 6年 S.K